



神奈川県

KANAGAWA

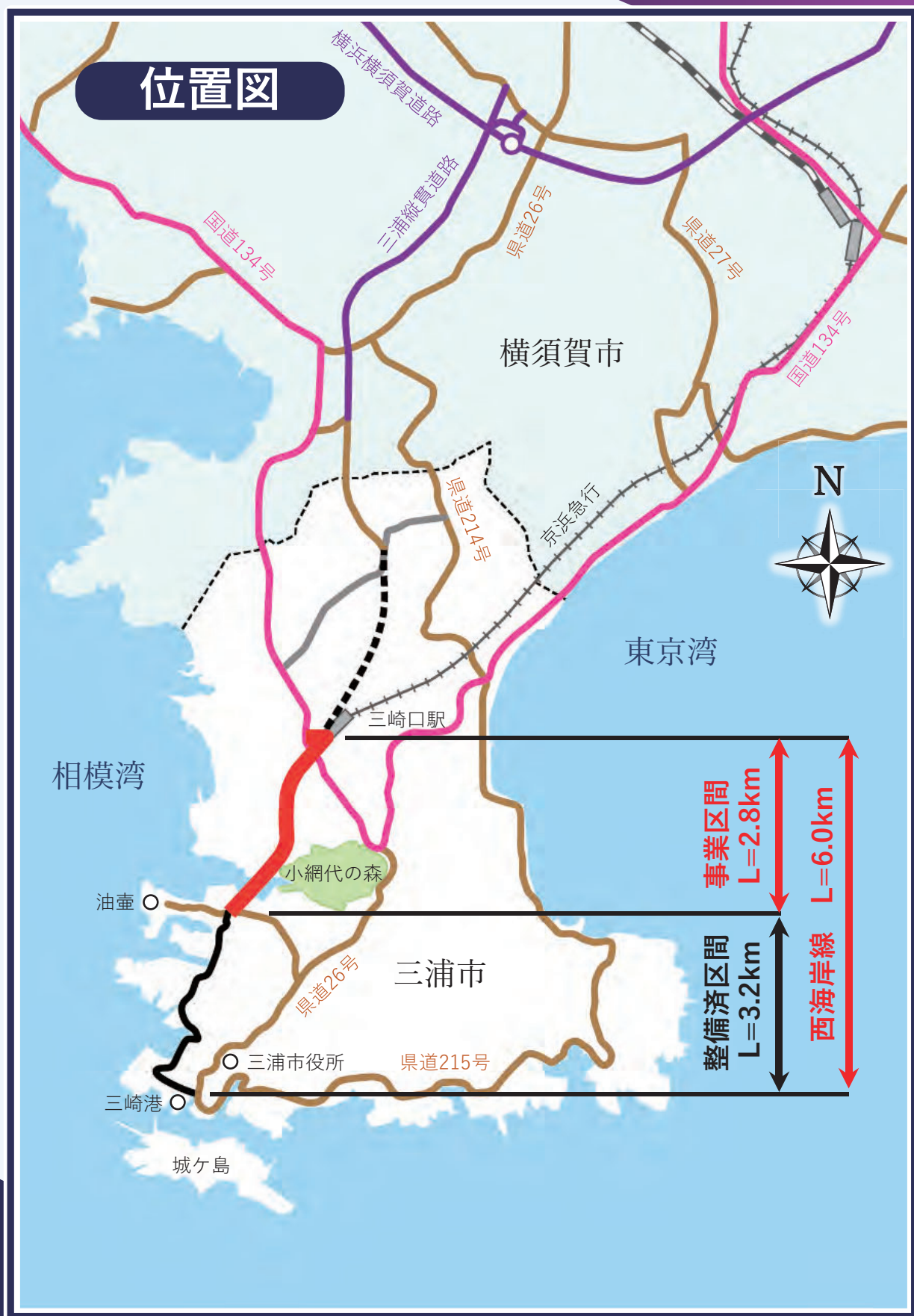
都市計画道路

西海岸線



神奈川県 横須賀土木事務所 道路都市課

WEST KAITAGAN



お問い合わせ



横須賀土木事務所

〒238-0022 神奈川県横須賀市公郷町1-56-5

TEL: 046-853-8800 FAX: 046-853-7443

ホームページ: <https://www.pref.kanagawa.jp/div/1910/>

令和7年3月

Before

三浦半島地域の現状と課題

豊富な産業・観光資源

三浦半島地域は、三方を海に囲まれ、変化に富んだ海岸線を有し、多摩丘陵から続く、まとまったみどりが豊かな地域であり、休日には多くの観光客が訪れます。

海岸沿いの幹線道路への交通集中

一方で、半島という地形的な制約から、幹線道路は海岸沿いに道路が集中しており、慢性的な渋滞が発生しています。

災害による孤立化の恐れ

また、災害による道路の冠水や護岸の崩落など道路網が寸断され、孤立化する恐れもあります。

西海岸線の整備による効果

地域の活性化

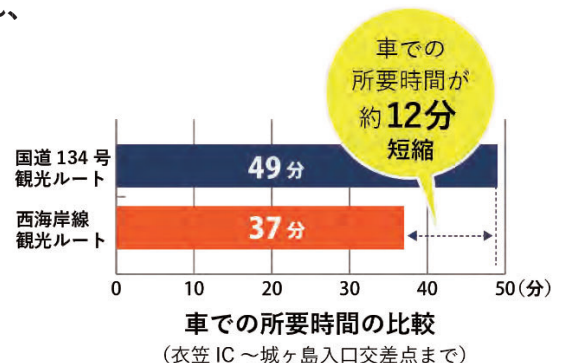
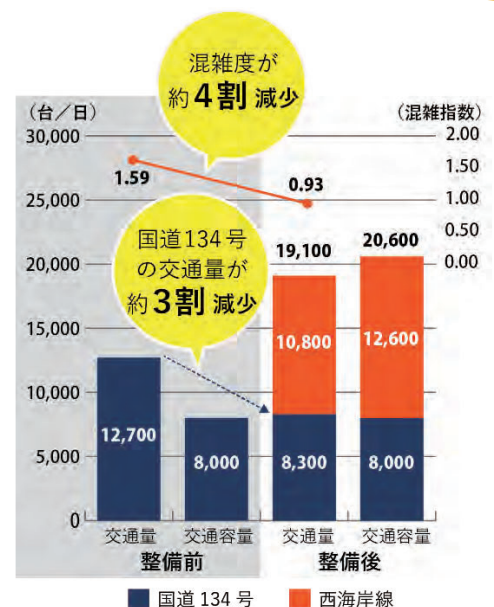
三崎地区から首都圏への所要時間が短縮し、物流の円滑化や観光振興が期待されます。

交通利便性の向上

西海岸線へ交通が転換することにより、渋滞緩和や事故減少が見込まれます。

防災面の強化

緊急輸送道路の代替ルートが確保され、防災面での機能強化が図られます。



After

事業概要

西海岸線は、三浦半島の南端に位置する三崎港付近を起点として、小網代湾を跨ぎ、国道134号の三崎口駅付近に至る、全長約5.7kmの都市計画道路です。

本路線は、三浦半島の南北軸を形成し、国道134号や県道26号(横須賀三崎)など現道の渋滞緩和や、災害時の対応力を強化するものです。

また、「城ヶ島・三崎地域」が目指す横浜・鎌倉・箱根に次ぐ国際的な観光地づくりの取組について、交通の面から支える重要な取組です。

事業の概要

事業名：三浦都市計画道路事業 西海岸線

区間：三浦市三崎町小網代～初声町下宮田

延長：2,800m

施行期間：令和5年12月19日～令和16年3月31日

都市計画道路の概要

路線名：都市計画道路 西海岸線

区間：三浦市三崎5丁目～初声町下宮田

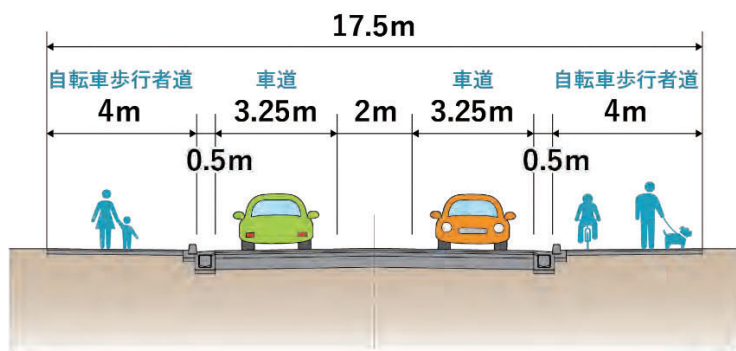
延長：5,660m

当初決定：昭和38年1月22日

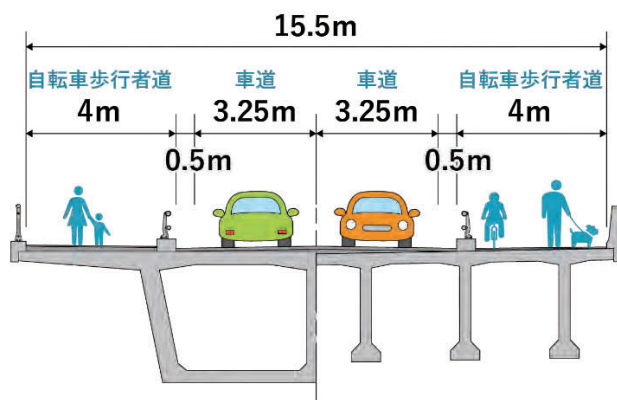
最終変更：平成13年11月20日

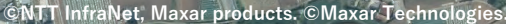
標準横断面

一般部



橋梁部





橋梁の意匠等については今後変更する可能性があります

（仮称）小網代大橋

完成イメージ図



橋梁デザインコンセプト

視界に広がる空・海と調和する、洗練された橋梁による新たな景観の創出と公共事業による豊かな自然環境の再生

外部景観

スカイラインに馴染み、引き立たせる外部景観

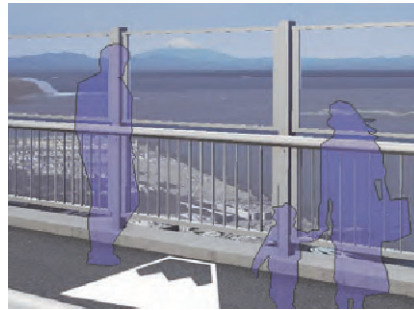
貴重な視点場の一つである「小網代の森」からの眺望を阻害しないよう、藤ヶ崎半島上の橋が外部からなるべく見えないように配慮する。「見せない部分」と「見せる部分」のメリハリにより、既存景観の美しさをより引き立たせる外部景観を創出する。



内部景観

景勝地としての話題性があり、人々が通りたいくなる内部景観

空と海、相模湾越しに富士山を望める架橋位置であるという特性を活かし、新たな景観スポットとなることが期待できる。また、開放的な空間と眺望により橋を渡ること自体に楽しさや喜びを感じられ、人々が通りたいくなる内部景観を創出する。



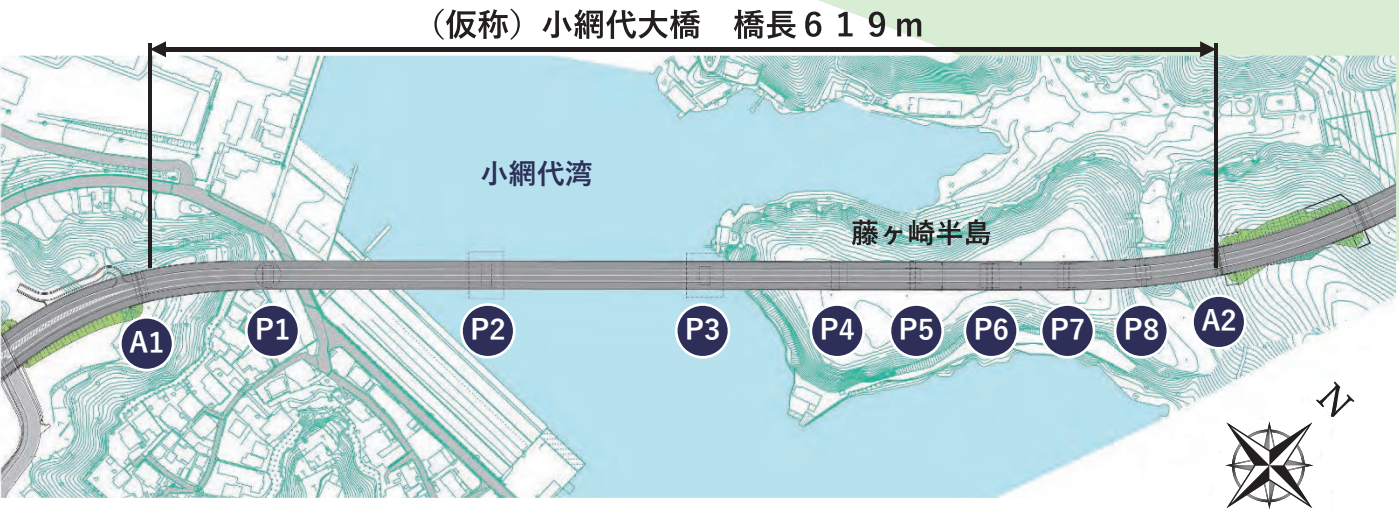
自然

より豊かな自然環境の再生

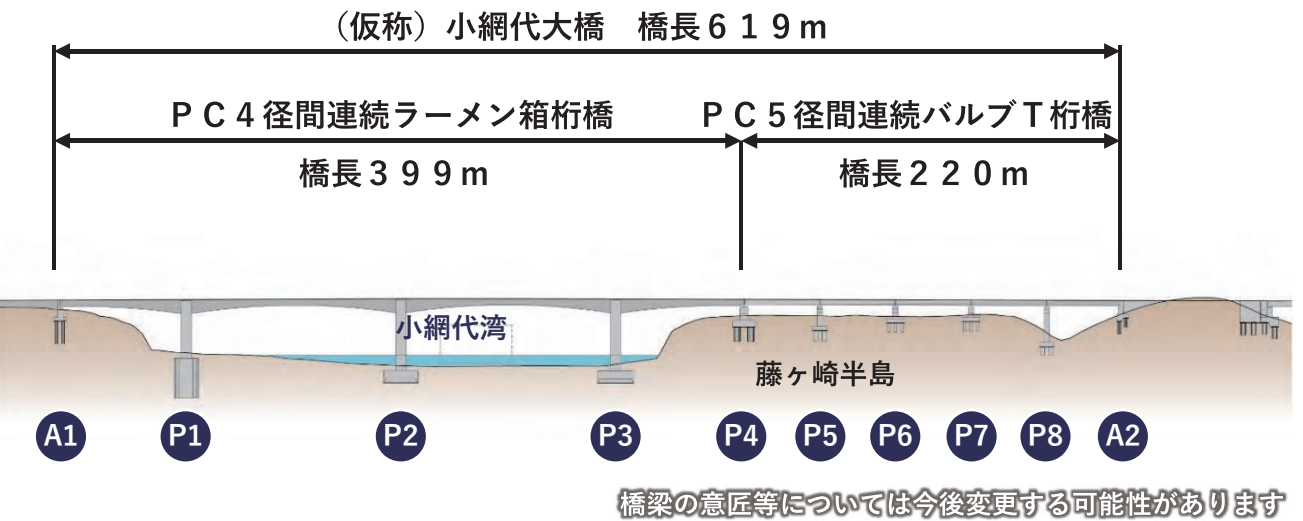
架橋位置は、近郊緑地保全区域に指定されており、様々な動植物が生息・生育している。橋梁工事にあたっては、自然環境に最大限配慮し、工事完了後には周辺環境に見合った植栽を行い、より豊かな自然環境への再生を目指す。



平面図



側面図



景観や環境への配慮

景観への配慮

橋梁の高さは低く抑えて、小網代の森の近くでは、できるだけ樹木で隠れるよう植栽します。



環境への配慮

生態系への影響を抑制するため、光の拡散が少ない高欄照明を採用するとともに、可能な限り明るさを抑えます。

